

科目名		ミュージックリテラシー 1						年度	2025	
英語科目名		Music Literacy-1						学期	前期	
学科・学年		コンサート・イベント科 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員		白石 美香		教員の実務経験		有	実務経験の職種		ビジネスマナー講師	
【科目の目的】										
音楽ビジネスにおける様々な業界・職業の存在とその役割、それぞれの関係性を把握すること、自身の考えを表現したり、他者の意見から学ぶコミュニケーション力を身につけることを目標としている。と同時に、音楽業界における様々な職種の、いずれに進むことになっても、その他の職種への理解とリスペクトを持つことができるようになることを目標とする。										
【科目の概要】										
社会人として信頼関係を築くために必要なビジネスマナーやビジネス常識を、講義形式で習得していく。身だしなみ・電話応対・来客対応などの基本動作や言葉遣いを、ロールプレイングやグループワークにより体験的にまなぶことで、「わかる」から「できる」、更には「身に付く」ようにする。学校の卒業要件ともなっているビジネス能力検定ジョブパス 3 級の合格を目指しながら一般常識を身につけ、社会に出て活躍できるよう、マナーや身だしなみの大切さを伝えていく。受け身の講義とならぬよう、学んだことを「実践する」ことに重点をおき、学生が抱いた疑問はその講義内で解決し次回に持ち越さない。各講義で学んだことが明日突然実践することになるかも知れないということを伝えながら、社会人の基本的な礼儀作法を習得する。										
【到達目標】										
A：挨拶の重要性を理解、自ら進んで挨拶をすることができる B：卒業要件であるビジネス能力検定ジョブパス 3 級の対策を自ら行い、合格レベルに達する C：マナーや礼儀作法について理解し、社会の場で正しく立ち居振る舞いができるようになる D：新聞やニュースに関心を持ち、その日国際社会で起きていることについて情報収集ができる E：就職活動の準備段階にいる自覚を持ち、面接や活動の流れを理解して自ら準備することができる										
【授業の注意点】										
授業中の携帯電話の操作、飲食、居眠り、私語は禁止とする。 また、授業時間数の 4 分の 3 以上出席しない者は定期試験を受験することができないため注意すること。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル 5 優れている	レベル 4 よい	レベル 3 ふつう	レベル 2 あと少し	レベル 1 要努力					
到達目標 A	初対面の人に対してもしっかり笑顔で挨拶することができ、人に良い印象を与られている。	初対面の人に対しても挨拶することができている。人に良い印象を与えられている。	顔見知りであれば挨拶することができる。初対面の人を避けてしまうことができる。	挨拶はしているが声が小さく相手に届いていない。暗い印象を与えてしまっている。	挨拶ができず、人の前を素通りしてしまう。人に不快な思いをさせている。					
到達目標 B	ビジネス能力検定ジョブパス 3 級の合格レベルに達しており試験対策で学んだことを実践している。	ビジネス能力検定ジョブパス 3 級の合格レベルに達しており学んだことの大切さを理解している。	ビジネス能力検定ジョブパス 3 級の合格レベルに達しているが、特に普段には活かされていない。	ビジネス能力検定ジョブパス 3 級の合格レベルに達していない。	ビジネス能力検定ジョブパス 3 級に合格するための努力を怠っている。					
到達目標 C	マナーや礼儀作法は人を不快にさせないために心掛けるものであると理解しており実践している。	マナーや礼儀作法は人を不快にさせないために心掛けるものであると理解している。	マナーや礼儀作法は人を不快にさせないために心掛けるものであると理解している。	マナーや礼儀作法は心掛けるべきであると思うが、その意味はいまいち理解できていない。	マナーや礼儀作法が何かを理解できていない。					
到達目標 D	インターネットニュースだけでなく新聞やテレビニュースを視聴し、興味を持って自ら情報を収集している。	インターネットニュースだけでなく新聞やテレビニュースを視聴し、自ら情報を収集している。	インターネットニュースだけでなく新聞やテレビニュースを視聴してはいるが、情報収集については受動的である。	インターネットニュースは見るが、新聞やテレビニュースは見ておらず、情報収集についても受動で貴である。	情報そのものに興味がなく、自分の興味あるトピックス以外に関心がない。					
到達目標 E	就職活動に対して自ら企業に働きかけ、就活情報を収集して活動に活かしている。	就職活動に対して自ら企業に働きかけ、自分に必要な情報を収集している。	就職活動に対して意欲的ではあるが、就活の流れはぼんやりと理解している程度である。	就職活動に対してしなければいけない気持ちはあるがいまいち動けておらず、活動も理解していない。	就職活動に意欲がなく、履歴書や面接の流れについても理解していない。					
【教科書】										
毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。										
【参考資料】										
ビジネス能力検定ジョブパス 3 級対策テキスト										
【成績の評価方法・評価基準】										
評価基準はルーブリック評価に基づき、準備・参加状況・報告を総合的に判定。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		ミュージックリテラシー 1				年度	2025
英語表記		Music Literacy-1				学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	授業で取り扱う内容を理解する	1	マナーとは①	マナーの五原則について理解する	2	
			2	お辞儀とは	お辞儀の種類について理解する		
			3	実践	ロールプレイングで実践する		
2	挨拶とはマナーとは	礼儀作法やマナーがなぜ必要なのか理解する	1	気持ちのいい挨拶とは	実例を提示しながら理解する	2	
			2	挨拶が必要な理由	ディベートを実施し話し合う		
			3	発表	チームごとに発表を行い考えを共有する		
3	礼儀とはマナーとは	なぜマナーを大切にするのかを習得する	1	マナーとは②	マナーを大切にする理由を理解する	2	
			2	礼儀作法	なぜ礼儀作法が必要なのかを理解する		
			3	実践	それらが必要な場面をシミュレーションする		
4	任されることの責任とは	責任を理解する	1	社会における責任とは	実例を提示し解説を行う	2	
			2	自分にとっての責任とは	自分に置き換えて責任というものに向き合う		
			3	「任される」とは	課せられた仕事に対する意識を理解する		
5	仕事とは	働くことの意義を理解する	1	「仕事」と「働く」	言葉の意味を紐解きながら理解する	2	
			2	キャリアとは	会社と学校の違いを理解する		
			3	8つの意識	仕事の基本となる8つの意識を理解する		
6	チームワーク	指示の受け方と報告・連絡・相談	1	チームとは	友達ではなく「仕事仲間」とは	2	
			2	指示の受け方	上司から指示を受ける際の態度とは		
			3	話し方と聞き方	気持ちの良いコミュニケーションとは		
7	来客対応	社（その組織）の人間である自覚を持つことを理解する	1	来客対応	お客様に対する対応について理解する	2	
			2	訪問	お伺いした先での立ち居振る舞いについて理解する		
			3	実践	ロールプレイングで実践する		
8	ビジネス文書	社会で行き来する文書について理解する	1	基本的な文書	形式やひな形を理解する	2	
			2	仕事への取り組み	仕事へ取り組む姿勢について理解する		
			3	文書作成	仕事として文書を作る方法を理解する		
9	電話応対	架電・受電について	1	受電について	受電の際の話し言葉や対応の仕方を理解する	2	
			2	架電について	電話を掛ける際の言葉や注意点を理解する		
			3	実践	ロールプレイングで実践する		
10	情報収集	社会人として能動的に情報を獲得することの大切さを理解する	1	情報収集について	情報の集め方、新聞について理解する	2	
			2	メディアについて	活用の仕方を理解する		
			3	経済について	基本構造や変化について理解する		
11	ジョブパス対策①	過去問題①	1	出題傾向	出題傾向対策を行う	2	
			2	過去問題実施	過去問題を用いて模擬試験を実施		
			3	採点・解説	誤答した理由と対策を行う		
12	ジョブパス対策②	過去問題②	1	出題傾向	出題傾向対策を行う	2	
			2	過去問題実施	過去問題を用いて模擬試験を実施		
			3	採点・解説	誤答した理由と対策を行う		
13	就職活動対策①	スピーチトレーニング	1	ホールパート法	結論を先に提示する話し方を理解する	2	
			2	プレップ法	分かり易い説明の仕方を理解する		
			3	姿勢・歩き方	歩き方で印象が変わることを理解する		
14	就職活動対策②	集団面接ロールプレイング	1	チーム分け	ランダムにチームを分け、以降はシャッフルする	2	
			2	模擬面接	集団面接の流れを体感し理解する		
			3	ディベート	テーマに沿って話しあう流れを理解する		
15	総評	半期行ってきた授業の総まとめ	1	レポート作成	身になったこと、既実践していることをまとめる	2	
			2	ディベート	作成したレポートをグループで共有し合う		
			3	まとめ	全体の総まとめ		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等